

古代インド帝国

(1)前2500ごろ インダス文明([1 **モヘンジョダロ**] [2 **ハラッパー**])
 シンド地方(下流域) パンジャーブ地方(上流域)
 整然とした街路など都市計画がすすむ。貨幣や印章の使用、オリエントとの交易、ドラビダ人？

(2)前1500～ [3 **アーリア**]人の侵入→バラモン教形成。経典([4 **ヴェーダ**])

身分制度=[5 **ヴァルナ**]の成立
 [6 **バラモン**]→[7 **クシャトリア**]→[8 **ヴァイシャ**]→[9 **シュードラ**]
 神官身分 王侯・戦士 庶民 奴隷

ヴァルナ…身分制上下観念、[10 **色**]という意味。←[11 **皮膚の色**]から生まれた。

カースト集団([12 **ジャーティ**])…特定の信仰や職業の結びつき、他の集団との結婚や食事制限などで結びついた閉鎖的な集団。しだいにいずれかの[13 **ヴァルナ**]と関連づけられ、上下関係に位置づけられる。(→いわゆる[14 **カースト**]制度)

バラモン教…現在の[15 **ヒンドウ**]教の原型となったアーリア人の古代宗教。神格化した自然への讃歌=[16 **ヴェーダ**]に絶対的の権威を認める。[17 **ヴァルナ**]を重視し司祭身分[18 **カースト**]の特権をみとめる。なお最古のヴェーダは[19 **リグ=ヴェーダ**]という。

(3)前500ごろ 新宗教の成立=[20 **バラモン**]の権威否定
 ◎[21 **ジャイナ**]教…ヴァルダマーナ、[22 **非殺生・苦行**]を説く…バイシャ([23 **商人**])の支持

◎仏教…ガウタマ=シッダールタが開く
 →だれでも正しい修行([24 **八正道**])を行えば解脱することができる説く
 [25 **バラモン**]教の儀式や[26 **ヴァルナ**]などを否定…[27 **クシャトリア**]ら支持

前6世紀クシャトリア出身の[28 **ガウタマ=シッダールタ**]は[29 **八正道**]とよばれる正しい修行によってすべての人間が救済されるとして[30 **仏教**]をひらいた。このおしえは身分差別[31 **ヴァルナ**]に反発する[32 **クシャトリア**] [33 **ヴァイシャ**]層に広がった。
 これにたいし肉体的苦行や[34 **非殺生**]主義を説いたのが前5世紀の[35 **ヴァルダマーナ**]が創始したジャイナ教であり、ヴァイシャとくに[36 **商人**]に広まった。

(4)前6世紀ごろ、ガンジス川流域に都市国家形成→[37 **コーサラ**]国、[38 **マガダ**]国が有力に

(5)前4世紀[39 **マウリヤ**]朝 都 **パータリプトラ**
 [40 **アレクサンドロス**]侵入後の混乱の中で[41 **チャンドラグプタ**]が建国

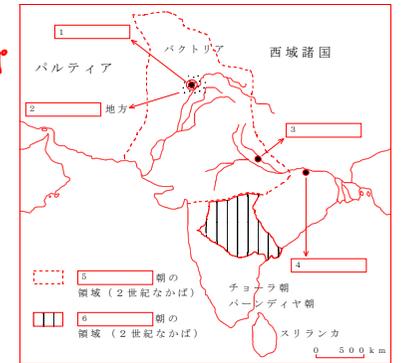
[42 **アショーカ**]王の時、全盛→ほぼ全インドを支配
 仏教保護=第3回仏典結集、磨崖碑石柱碑、布教使の派遣→[43 **スリランカ**]などへの布教

前6世紀ごろになるとマガダ国や[44 **コーサラ**]国などの国がしだいに有力になり、互いに争っていたが、前4世紀前期の[45 **アレクサンドロス**]の東方遠征にともなう混乱のなか[46 **パータリプトラ**]を首都として[47 **マウリヤ**]朝が成立した。前3世紀中期の[48 **アショーカ**]王はインドの大部分を支配統一、仏教による支配をすすめた。かれは[49 **仏典結集**]を行うとともに[50 **石柱**]碑・磨崖碑を建立してダルマ(法)の普及につとめた。また各地に布教使の派遣をおこない、仏教を[51 **スリランカ**]島からへ東南アジアへ伝えるきっかけを作った。

(6)1～4世紀 [52 **クシャーナ**]朝(イラン系、大月氏の一族)
 →西北インドに進出 都 [53 **パータリプトラ**](現ペシャワール) ([54 **ガンダーラ**]地方)

[55 **カニシカ**]王の時、全盛→仏教を絹の道方面に広げる
 第4回仏典結集(サンスクリット語)、
 大乘仏教の成立([56 **ナーガールジュナ**]ら)→菩薩信仰

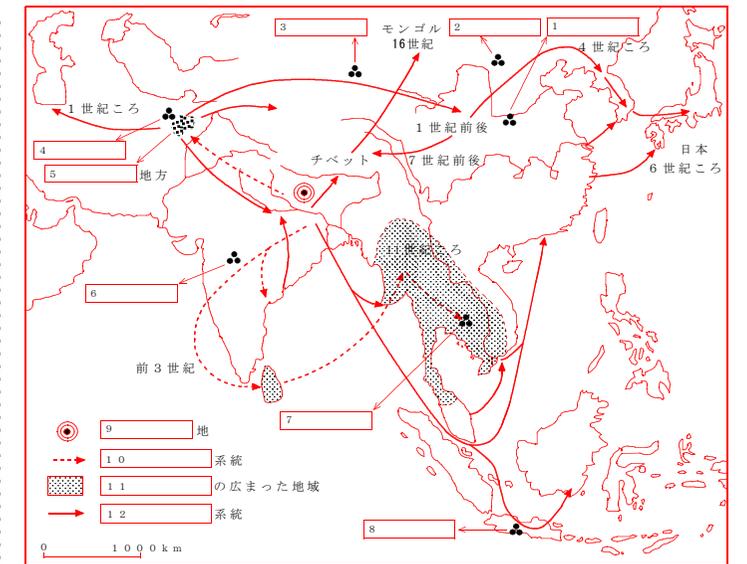
[57 **ガンダーラ**]美術([58 **仏像**])をつくる
 ←[59 **ヘレニズム**]美術の典型



クシャーナ朝とサータヴァーハナ朝の領域

後1世紀、中央アジアで[60 **イラン**]系民族が建てた[61 **クシャーナ**]朝は、西北インドに侵入、後2世紀の[62 **カニシカ**]王は仏教保護をすすめた。首都プルシャプラを中心とする[63 **ガンダーラ**]地方では[64 **ギリシア**]文化の影響を強く受けた(=「ヘレニズム文化」)仏教美術が形成され、[65 **仏像**]などがつくられた。

大乘仏教
 …慈悲の精神を重視し[66 **菩薩**]信仰を中心に、[67 **衆生救済**](すべての人を救うこと)をめざす仏教。クシャーナ朝の[68 **ナーガールジュナ**]が教理を確立、絹の道をへて東アジアに広がったため北伝仏教といわれる。
 [69 **上座部**]仏教(小乗仏教)
 …[70 **出家**]したものによる個人的な修行による[71 **解脱**]をめざした仏教の教派。[72 **スリランカ**]から東南アジアに広がったため、南伝仏教とも呼ばれる。



仏教の伝播